里山水生園 散策MAP

散策しながら季節の花々や、生き物との出会いをお愉しみください。

NEMU HOTEL & RESORT

みどころ POINT

1 ドングリの木は樹液がたくさん出るので、夏はカブトムシやクワガタが集まります。

2 枯れた葉を手で揉むとニッキの香りがするニッケイの木が生息しています。
樹皮は、香料や薬、根がお菓子の「ニッキ」に使用されます。

3 NEMUには、クロメダカが生息。クロメダカは数が減少し、絶滅危惧種にも指定されています。また、丹生の池の海水が混ざった場所でも見つけることができます。

4 穴の中にカニが隠れています。
NEMUには、ベンケイガニ、クロベンケイガニ、アカテガニが生息。
7月～9月の満月の夜には、産卵の為に日向ぼっこの浜まで移動するベンケイガニの行列を見ることができます。

5 早朝には、丹生の池にある枯れ木をコンコンとつつくキツツキ（コゲラ）の様子を見ることができます。枯れた木にいる虫を食べるために木をつついて、長い舌で虫を獲っています。

6 カワセミは鮮やかな水色の体と長いくちばしが特徴の美しい鳥です。警戒心の強い鳥なので、運よく見られたら、とってもラッキーです。

7 ハマボウは、ハイビスカスの仲間で、海水と真水が交わる汽水地に生息する樹木。朝開いて夕方には咲き終わる1日花です。8月の終わりには、水面にたくさんのハマボウの花が浮いている光景がみられます。

里山水生園の水の生き物

クロメダカ（絶滅危惧種）、イモリ、カエル、アメンボ、カニ、水カマキリ、ゲンゴロウ（絶滅危惧種）、タガメ（絶滅危惧種）、どじょう、ウナギ、スジエビ、テナガエビ、フナ、ボラの子ども